

早川平会計事務所通信

4月号 VOL. 101

税理士法人早川・平会計

〒101-0048

東京都千代田区神田司町2-10安和司町ビル2階

電話：03-3254-2171 F A X：03-3254-2174

<http://www.ht-tax.com>

mail：y.taira@ht-tax.com



インド人の生活には「ジュガード」の精神が根付いているそうです。「ないものを求めるより、目の前にあるもので新しい何かを創造する」という意味で、日常的に起こるさまざまな問題を賢く解決するための起業家的精神だとか。インド発の驚異的に安い車「タタ・ナノ」はジュガードが生んだ成功例といえるでしょう。

【法人に対する利子割が廃止されました】

平成二十五年度の税制改正により、平成二十八年一月から法人に対する利子割（地方税）が廃止されました。これにより平成二十八年一月一日以降、法人に対して支払われる預金利息等から地方税の特別徴収がされなくなりました。利子割は、銀行や信用金庫などの預金や公社債などの利子等に課税され、金融機関などが利子等を支払う際に特別徴収していました。具体的には、これまで国税と地方税を合わせて20.315%の税率で課税されていたものが、そのうちの地方税5%が廃止され15.315%になりました。仮に預金利息が10万円の場合、国税の15315円と地方税の5000円で合計20315円が特別徴収されていたものが、改正後からは国税の15315円のみとなりました。法人は、法人税割額算出の基となる課税所得に利子も含まれるので、そのままでは利子割との二重課税になってしまいます。そのため法人は利子割額を計算し、状況により控除して納税もしくは還付を受けていました。今回の利子割廃止により、法人や各都道府県はこれに伴う事務作業が軽減されることとなります。また各都道府県においては、還付金以上の振込手数料を使って還付することも少なくなかったようで、こうした負担も軽減されるようです。なお、利子割の廃止は法人だけで、個人に対して支払われる預金利息等については従来通りに特別徴収されます。



【耐久性・機能性・職人技の美しさで注目される日本の「ランドセル」】

日本の小学生の象徴である「ランドセル」が脚光を浴びています。ハリウッド女優の愛用を発端にファッションアイテムとして欧米に広まる一方、アニメで認知度が高い中国からの観光客の土産物としての需要も増えています。人気の理由は6年間の使用を前提とした耐久性や機能性に加え、職人技の美しさにあるようです。定番以外にも新たに開発されたビジネスマン向けの大人用やスポーツ仕様も好評とか。創意工夫がお家芸の日本製のブームはまだまだ続きそうです。



A型	B型	O型	AB型
移動や仕事内容の変更など変化に惑わされやすい運勢です。焦りや不安などを感じても目の前のことに集中を！	アイデアや企画を考えるのに良い月です。集中力がさえるので知的分野でのレベルアップも期待できそうです。	トップに立つより裏方に回ったほうが仕事ははかどります。あれこれと手を出すよりひとつのことに集中が吉！	これまで計画していたことを実行に移すのに良い月。タイミングや周囲の状況を見ながら実行に移しましょう。

【だからこそ「今日」という一日を大事にしたい】

極めて短い時間を「刹那（せつな）」といいます。仏教の時間の概念において最小単位である「刹那」は、約75分の1秒だといわれています。つまり「一瞬」です。絶え間なく続いているように思える時間は「刹那」の連続で、あっという一瞬の間にすべての物事が変化していることとなります。刹那の連続で過去が現在になり、さらに未来へと連なっていくのでしょう。この世に存在するあらゆるものは移り変わっていきます。すべてが一刻一刻、一瞬一瞬と変化して、変わらないものは何ひとつありません。それが「諸行無常」で、お釈迦様の悟りを表す言葉のひとつです。

「諸行無常」の意味を頭では理解していても、実感するのは難しいものです。久しぶりに会った人の変化には敏感でも毎日、顔を合わせている人の変化には気付きにくく、何も変わっていないように見えることさえあります。自分のことも同じでしょう。10年前の写真を見れば変化は一目瞭然ですが、1年前くらいの写真では変化が読み取れないかもしれません。けれどそれは錯覚です。私たちは1年ごと確実に変化しています。1年経てばひとつ年を重ね、その分だけ老いてもいます。1年で変化しているということは、1日ごとにも変わっているわけです。1日で変化しているのなら1時間、1分、1秒、刹那ごとにあらゆるものが変化しているのでしょう。言い換えれば、刹那の連続で1年、10年、そして一生となっていくのです。

こうしている間にもどんどん時間は過ぎていき、すべては変化しながら少しずつ老いて人生の終わりに近づいていきます。時間は命と同じです。生まれたばかりの赤ちゃんも80歳の人、残された時間が減っていくことに変わりはありません。実感するのが難しいだけで、誰でも刹那、刹那に命が失われています。時間の無駄遣いは命の無駄遣いだと思えば、少しは「今」を大事に生きられるでしょうか。お釈迦様の悟りには達せずとも、せめて「今日一日を大事にしよう」という気持ちで毎日を積み重ね、商売に精進していきたいものですね。



痛快！えだまめ君

画：ほりひろみ



【三匹のおっさん】

小説『フリーター、家を買う。』『空飛ぶ広報室』などの実写化で人気の有川浩の作品。定年を迎えた三人のおっさんが、町内に起こる事件をそれぞれの個性を活かしてスカッ！と解決する痛快人情劇です。勇気と元気をもらえること間違いなし。

